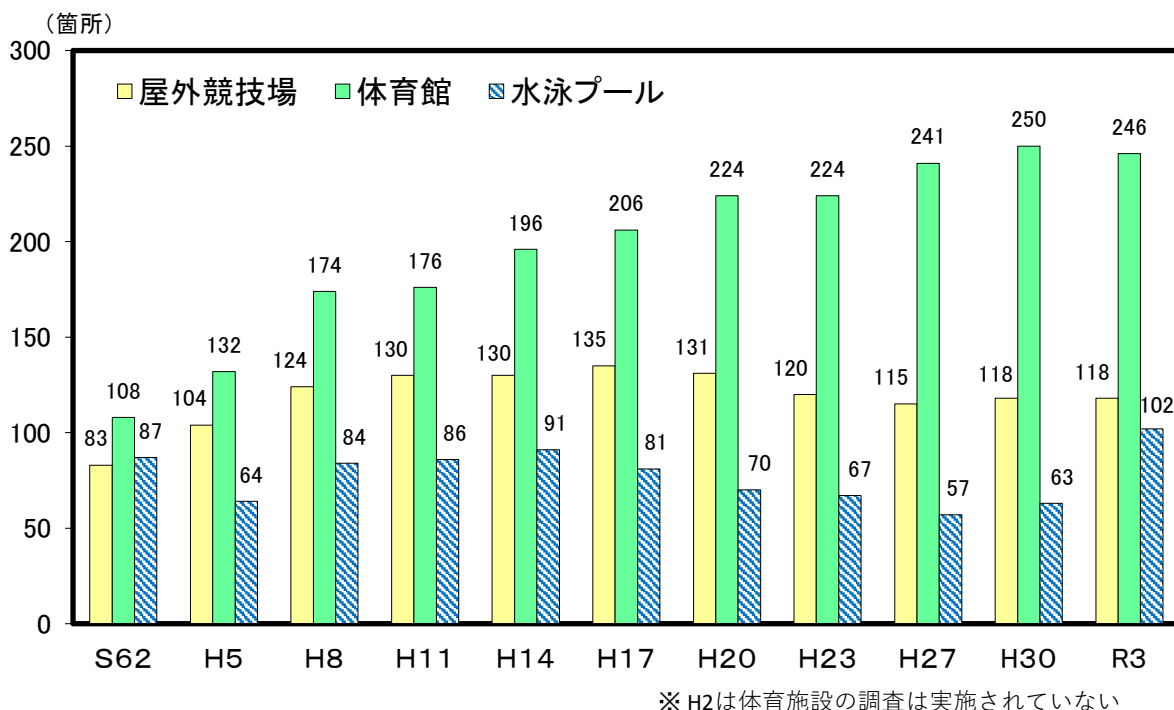


熊本県の体育施設数の推移(社会体育施設+民間体育施設)



解 説

【概要】

令和3年の県内社会体育施設は907か所(全国45,658か所)で、前回調査時の平成30年に比べ8か所減少した。

一方、県内の民間体育施設は300か所(全国29,821か所)で130か所増加した。

種類別には、屋外競技場が前回(平成30年)と同様118か所、体育館が1.6%減少して246か所、水泳プールが61.9%増加して102か所だった。

種類別の施設数について昭和62年からの推移をみると、体育館数は平成30年まで増加していたが、令和3年に減少した。屋外競技場は平成17年まで増加していたが、それ以降は減少傾向であったが、平成30年に増加した。また水泳プールも平成14年をピークに減少傾向であったが、平成30年から増加に転じた。

○社会体育施設

一般の利用に供する目的で地方公共団体、独立行政法人が設置した体育館、水泳プール、運動場等のスポーツ施設。青少年教育施設等に附帯する体育施設は除く。

○民間体育施設

民間の営利・非営利体育施設で、一般の利用に供する目的で設置された体育館、水泳プール、運動場等のスポーツ施設。企業の職員の福利・厚生用の施設は除く。

○屋外競技場数

ここでは社会体育施設及び民間体育施設の屋外施設の中から、陸上競技場、野球・ソフトボール場、球技場の合計とした。

○体育館数

ここでは社会体育施設及び民間体育施設の屋内施設の中から、体育館の数とした。

資料出所	調査期日	調査周期
「社会教育調査」 文部科学省	令和3年10月1日	3年